



写真・宮古市鯨ヶ崎

# 光太郎の三陸廻り<sup>めぐ</sup>

令和3年度 高村光太郎記念館 企画展

黒潮は親潮をうつ  
親しほは狭霧を立てて  
船にせまれり

令和3年

7月16日(金)～

8月30日(月)

高村光太郎記念館



若し此世が楽園のような社会であつて、誰が何処に行つて働いても構わず、あいている土地なら何処に棲んでも構わないなら、私はきつと日本東北沿岸地方の何処かの水の出る島に友達と棲むだろう。そこで少し耕して島つものをと、少し漁つて海つものをとり、多く海に浮び、時に遠い山に登り、そうして彫刻と絵画とにいそしむだろう。船は私のなくてはならない恋人となるだろう。

(昭和六年十月二十日 三陸廻り『夜の海』より)



早朝の宮城県気仙沼港

1931 (昭和6) 年の夏、新聞社からの依頼で三陸沿岸の紀行文の執筆を依頼された高村光太郎は、宮城県石巻から岩手県宮古までの行程を約一ヶ月かけて旅行し、全十回の紀行文『三陸廻り』を執筆します。

主に船旅で三陸沿岸を廻った光太郎は、一旅行者の視線で各地の自然や港町を紹介する一方で、船旅への思いや、因縁とも言える三陸と高村家とのエピソードを綴りました。

この企画展では、これまで知られることが少なかった光太郎と三陸沿岸各地のつながりを『三陸廻り』を中心に、現在の各地の姿と合わせて紹介します。

## 高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田3-85-1 ☎0198-28-3012  
開館 午前8時30分 閉館 午後4時30分 休館日 12月28日~1月3日

### 高村光太郎記念館 入場料

一般 350円 / 高校生・学生 250円 / 小・中学生 150円  
※団体入場 (20名以上) は上記から一人あたり50円割引

